決算説明会

2025年3月期

2025年5月28日
株式会社 大真空（証券コード：6962）
代表取締役社長
飯塚　実

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2025年3月期決算概況

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2025年3月期　期中訂正

単位：百万円	2025年3月期（訂正前） 4-6月	4-9月	4-12月	2025年3月期（訂正後） 4-6月	4-9月	4-12月
売上高	9,827	19,438	29,549	9,827	19,438	29,549
営業利益	584	916	1,252	**416**	**443**	**740**
経常利益	1,004	△78	1,014	**836**	**△550**	**501**
親会社株主に帰属する当期純利益	662	△187	358	**379**	**△498**	**16**

期初より在庫管理において特定の処理(操作)誤りを繰り返したことにより、
１Q～３Q間において棚卸資産及び売上原価の金額に誤りが生じた

→是正ルール整備済み　整合性を毎月確認し再発を防止する

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2025年3月期　実績（前期比）

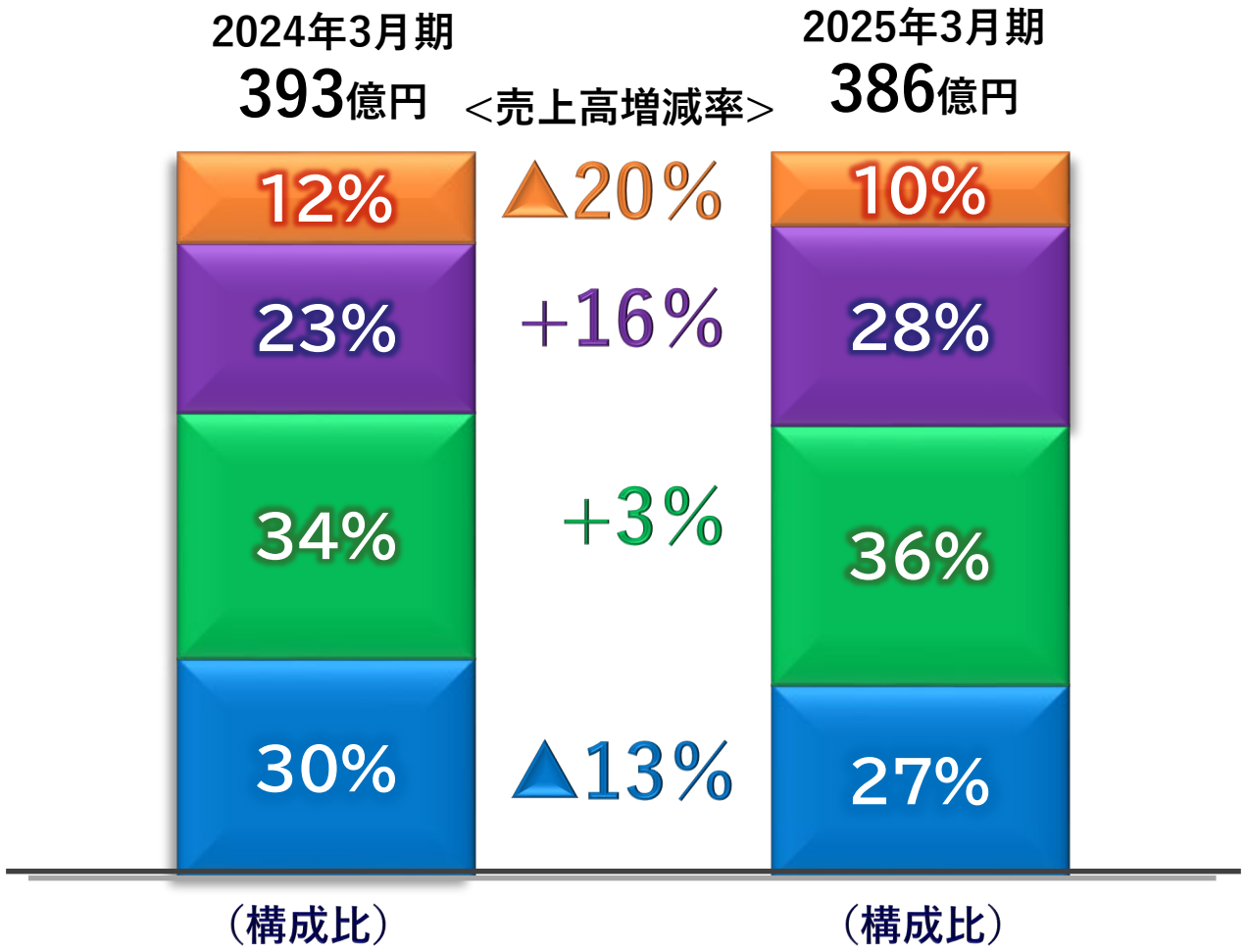
減収減益

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	39,343	**38,620**	△ 723 ↓	△ 1.8%
営業利益	2,135	**915**	△ 1,220 ↓	△ 57.1%
経常利益	3,192	**412**	△ 2,780 ↓	△ 87.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,876	**285**	△ 1,591 ↓	△ 84.8%
USD平均レート（円）	144.59	**152.62**	8.03 ↑	

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

マーケット別販売実績（前期比）

民生向け好調も通信向け低迷



産業

設備投資抑制などにより
FA/ロボット不調が長期化

民生

PC関連、ウエアラブルおよび
ドローン向けなどが堅調に推移

車載

欧州のEV車販売不振などにより
伸びが鈍化も総じて堅調に推移

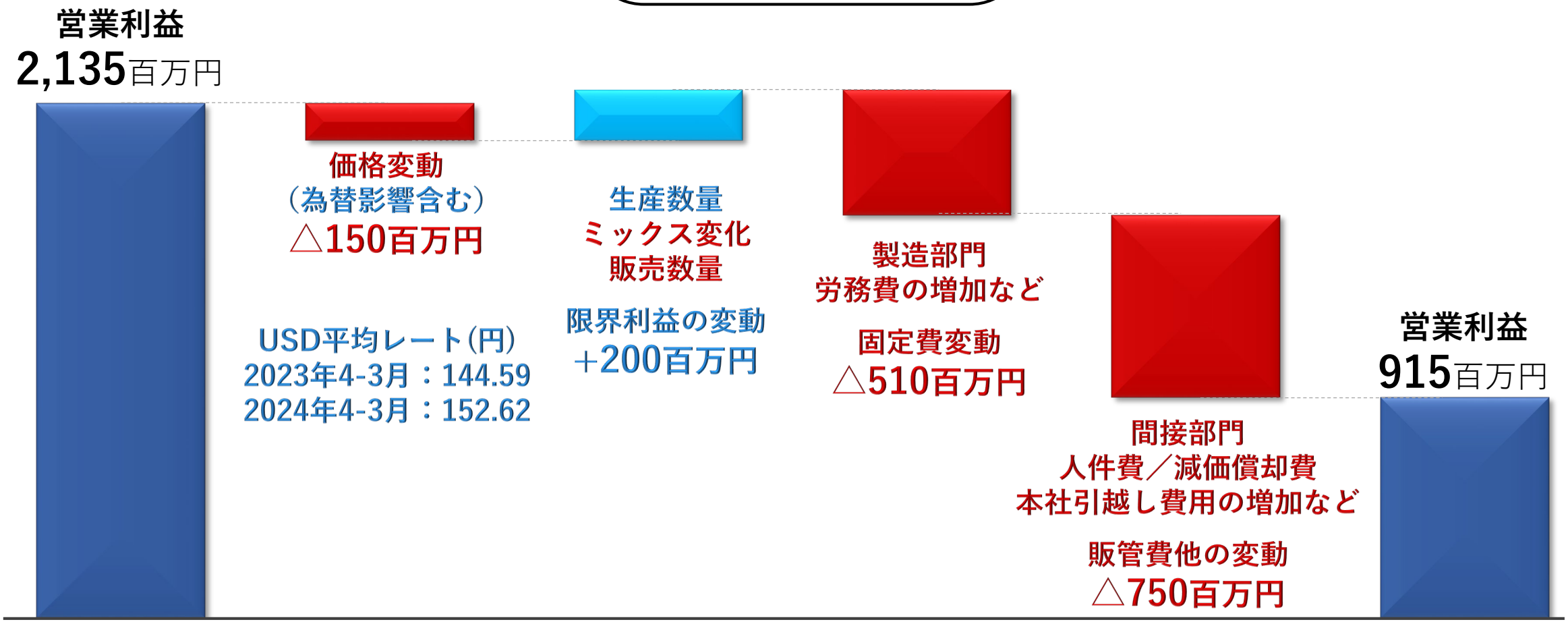
通信

中国スマホにおける5G用チップ
セットの変化によりフォトリソ
製品が減少

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

営業利益　増減分析（前期比）

2024年3月期 → △1,220百万円 → 2025年3月期



Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2025年3月期　第4四半期実績（直前四半期比）

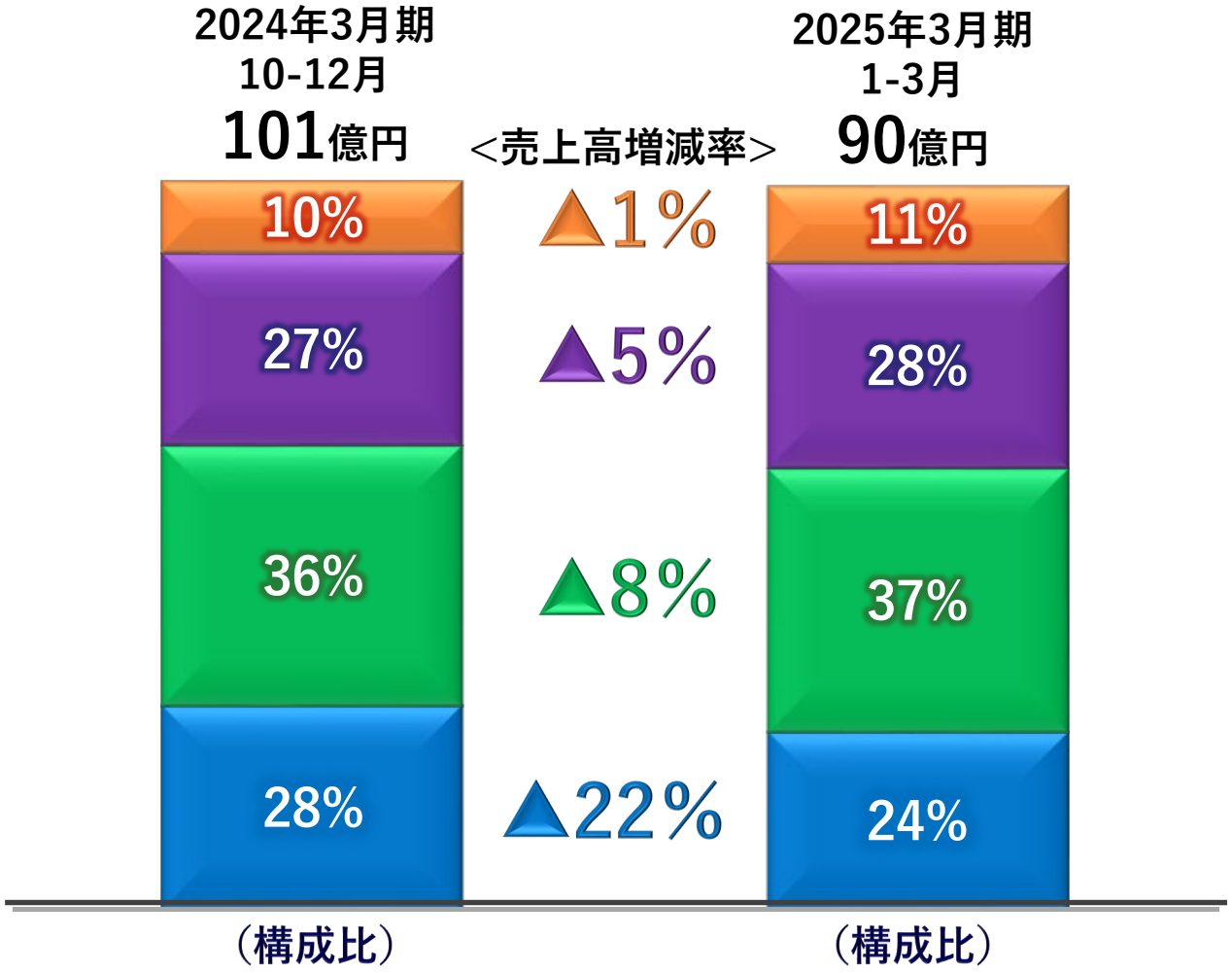
減収減益

単位：百万円	2025年3月期 4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	直前四半期比 増減
売上高	9,827	9,611	10,111	**9,071**	△ 1,040 ↓
営業利益	416	27	296	**174**	△ 122 ↓
経常利益	836	△1,387	1,052	**△ 89**	△ 1,141 ↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	379	△878	515	**268**	△ 247 ↓

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

マーケット別販売実績（直前四半期比）

季節的要因の影響により減収



産業

欧米の住宅、セキュリティ関連は堅調もFA機器の在庫過剰傾向は継続し低迷

民生

ウエアラブル、ドローン向け堅調もPC向け減少
中華圏の季節的要因による影響は中国補助金政策により限定的

車載

欧米は微増も中華圏の季節的要因により減少

通信

GPS／GNSS用途は堅調だが、価格競争や中華圏の季節的要因により減少

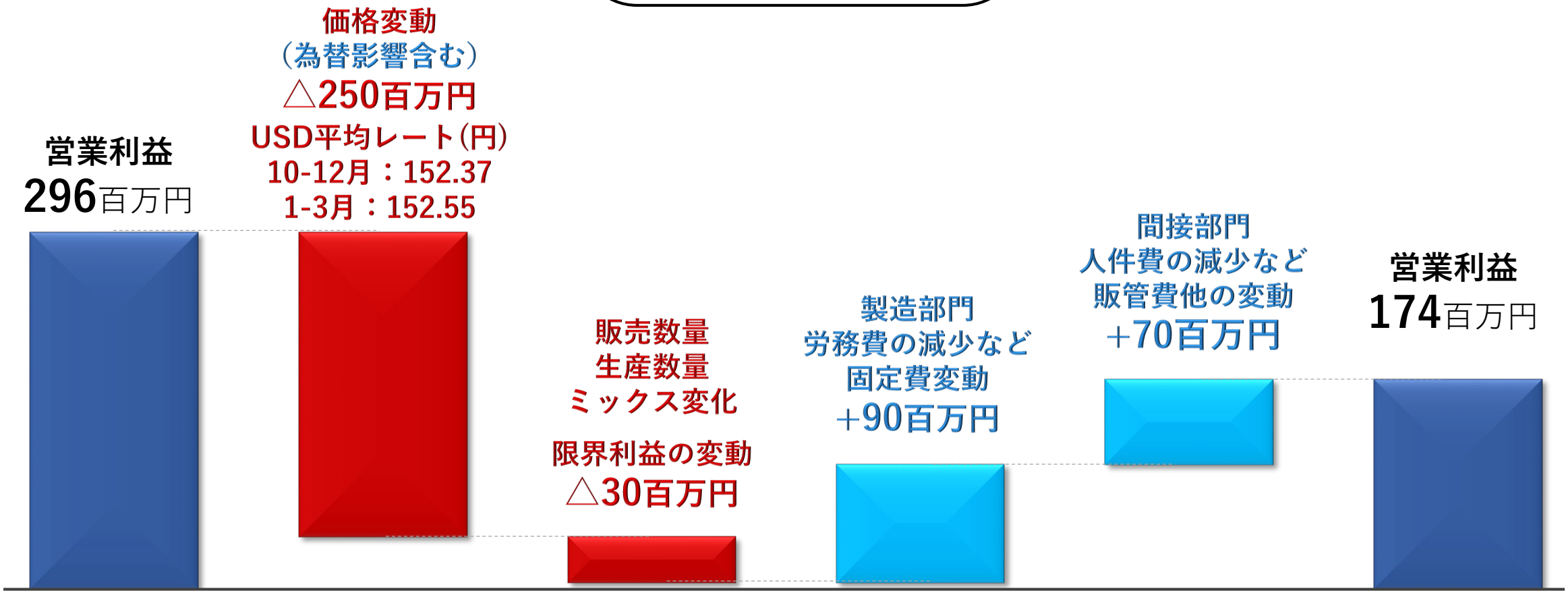
Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

営業利益　増減分析（直前四半期比）

2025年3月期
10-12月

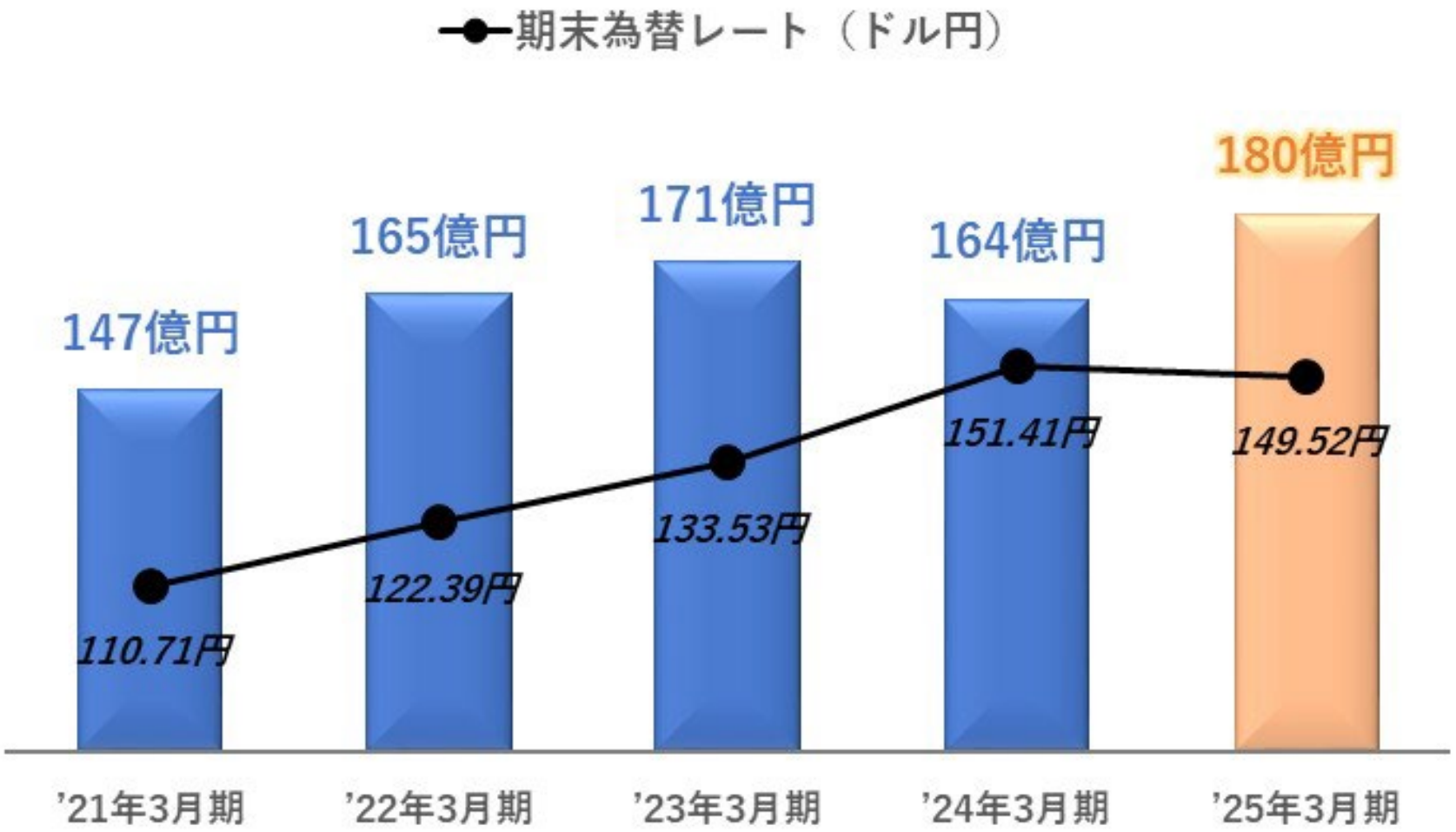
△122百万円

2025年3月期
1-3月



Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

棚卸資産推移



2025年3月期

前期末比 ＋16億円
（内、為替影響△2億円）

■主に原材料が増加：
部材(金) 単価高騰および
IC先行手配などによる増加

主に材料単価高騰の影響により前期から棚卸資産が増加

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

設備投資／減価償却費／研究開発費

（単位：百万円）

前期比

	2024年3月期	2025年3月期	増減
設備投資	3,613	7,450	3,837
減価償却費	3,941	3,986	45
研究開発費	2,170	2,168	△ 2

直前四半期比

	2025年3月期 10-12月	2025年3月期 1-3月	増減
設備投資	430	1,021	591
減価償却費	1,088	920	△ 168
研究開発費	567	564	△ 3

設備投資は本社工場関連で増加

▸ 2024年8月竣工

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2026年3月期　通期業績予想

増収増益

（単位：百万円）

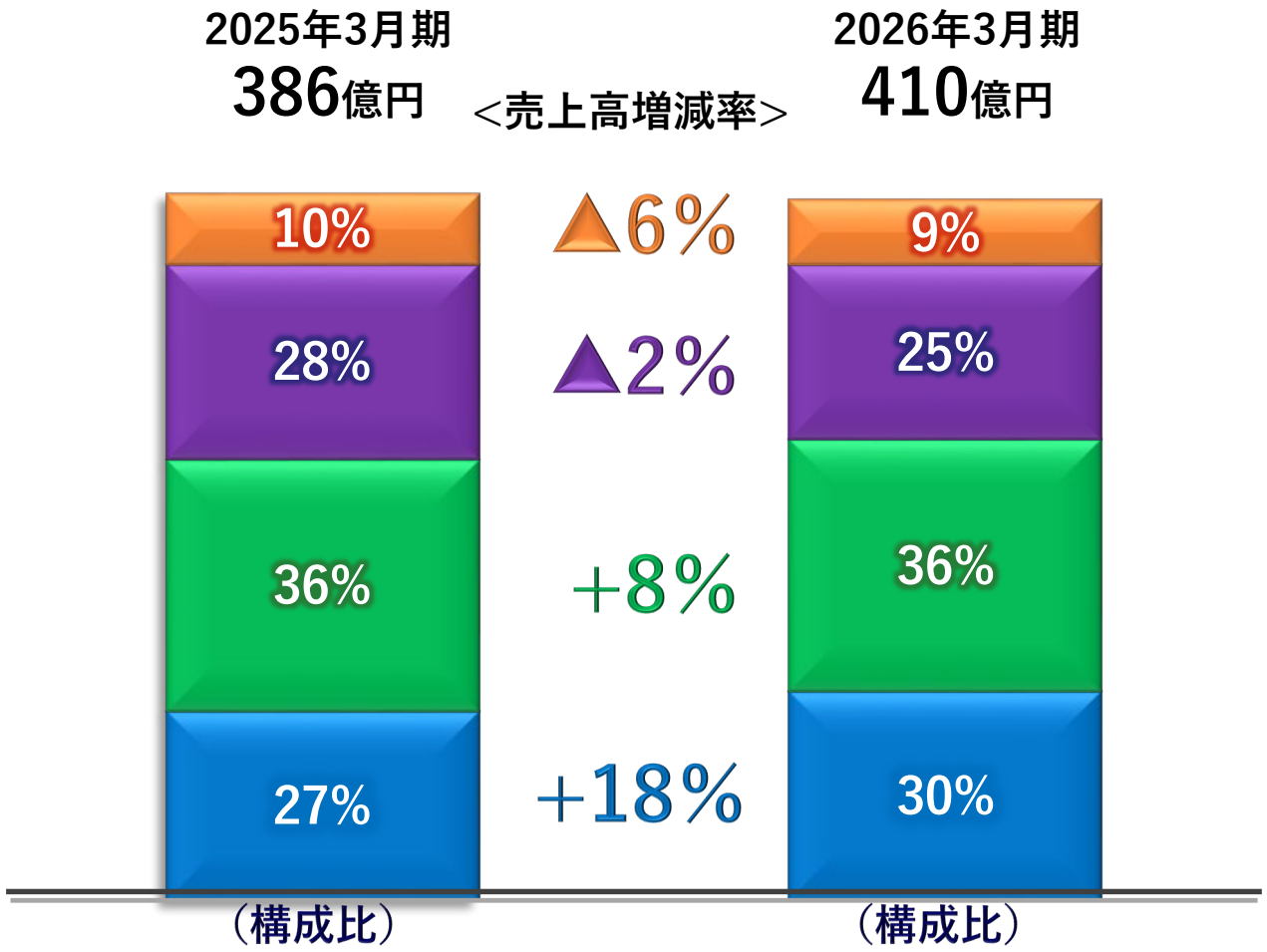
	2025年3月期	2026年3月期	増減	増減率
売上高	38,620	**41,000**	2,380 ↑	6.2%
営業利益	915	**2,000**	1,085 ↑	118.6%
経常利益	412	**1,000**	588 ↑	142.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	285	**500**	215 ↑	75.1%
棚卸資産	18,018	**21,300**	3,282 ↑	18.2%
設備投資（※）	7,450	**9,000**	1,550 ↑	20.8%
減価償却	3,986	**4,500**	514 ↑	12.9%
研究開発	2,168	**2,300**	132 ↑	6.1%
ROE	0.8%	**1.6%**		
ROIC	0.7%	**2.1%**		
USD平均レート（円）	152.62	**140.00**		

（※）
第2中期経営計画(2024年～2026年)
設備投資累計額　150億円
→経産省補助金活用し増加（Arkh関連）

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

マーケット別販売計画

通信/車載向けの需要増大



産業

設備投資抑制の影響で
FA/ロボット需要低迷が継続

民生

ゲーム、ドローン等は堅調も
PC関連は弱含み

車載

ADAS比率が高まり高付加価値
製品の需要増大

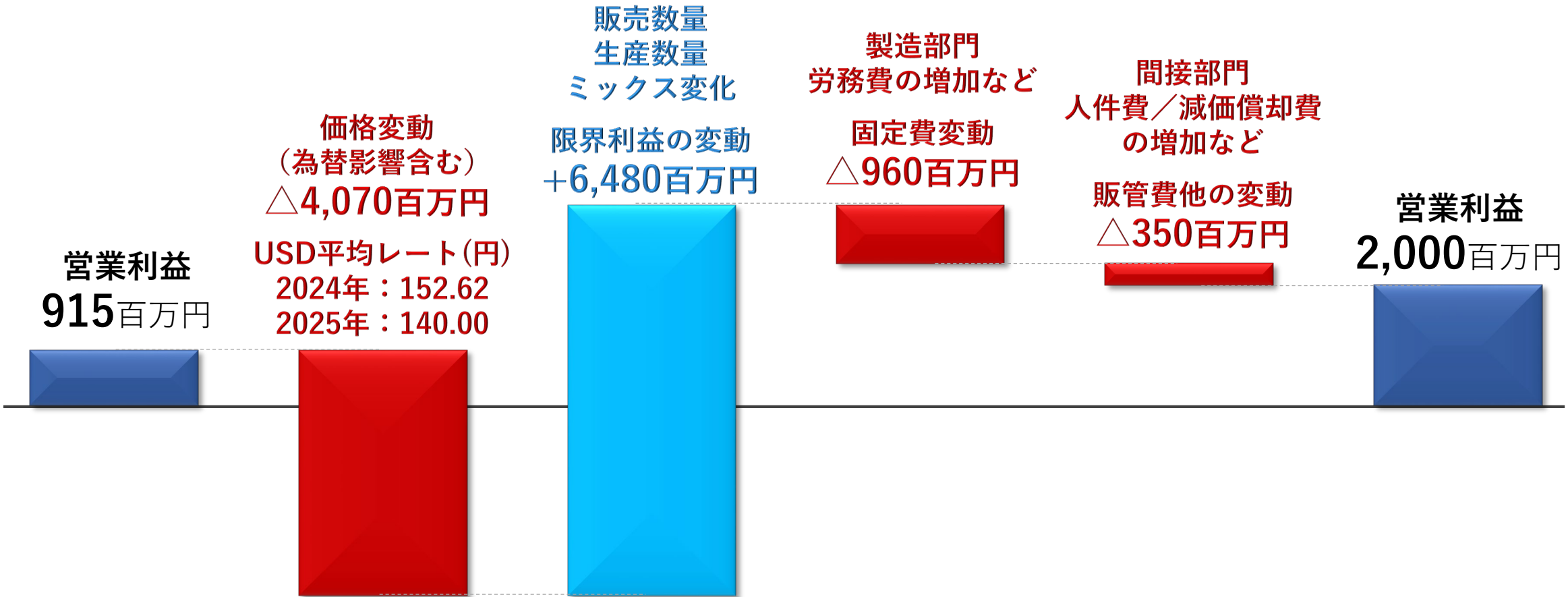
通信

GPS／GNSS用スマホ・モジュール
向け、Wi-Fi向け、および低軌道
衛星向けの需要増大

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

営業利益　増減分析（通期業績予想）

2025年3月期 → +1,085百万円 → 2026年3月期



Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」進捗

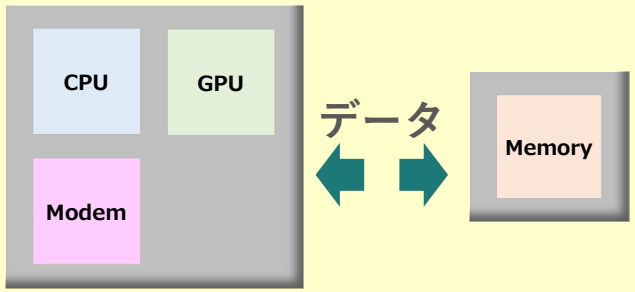
Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」 進捗 One：一社供給

半導体構造の変化 ～ チップレット技術の進展 ～

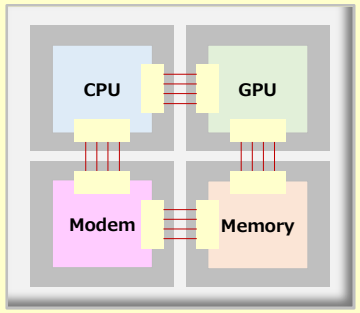
従来：SoC設計

SoC = System on a Chip



- 微細化の限界
- 高機能化の限界
- 消費電力の増加

チップレット技術



- ICの高機能化/低電力化

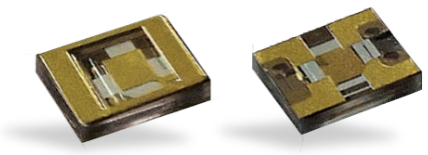
本格普及：2027年頃(予想)
利用用途：AIデータセンター
自動車
モバイル端末、等

当社の対応

受動部品のパッケージ内蔵機会増加

最適なデバイス

Arkh.3G



競争優位性 ▶ 小型 / 薄型 / コスト

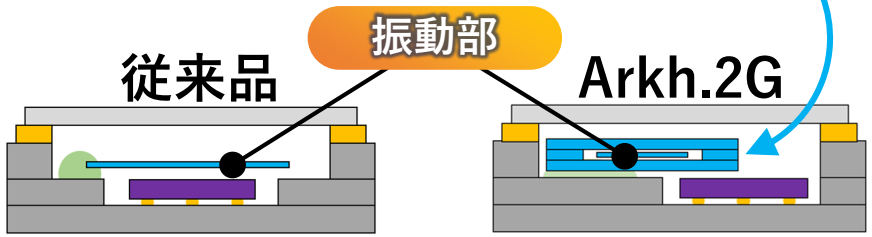
チップレット技術の今後の進展に期待

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」 進捗 Cost：低コスト域への挑戦

性能

信頼性に優れるArkh水晶振動子を搭載



コスト競争力

設備縮小・増産効果によるコスト競争力

Arkh.2G ラインナップ

■従来品 ■Arkh

	2025年度	2027年度
SPXO ADAS・監視カメラ	KDSシェア 約10% 世界トップクラス	目標 30%
TCXO GPS/GNSS(スマホ・モジュール) 衛星通信	KDSシェア 約30% 世界No.1	目標 40%
差動出力水晶発振器 光トランシーバ	KDSシェア 10%未満	目標 30%

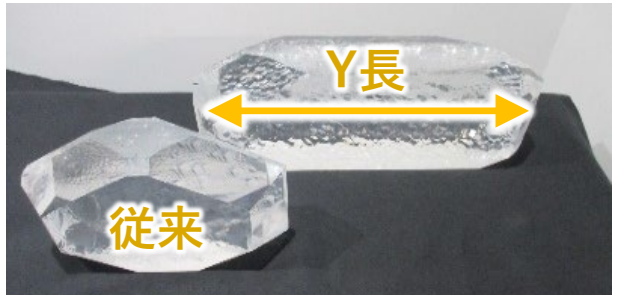
(KDSシェア：当社調べ)

性能とコストを両立した Arkh.2G水晶発振器を主力機種に

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」 進捗 Element：人工水晶の大型化

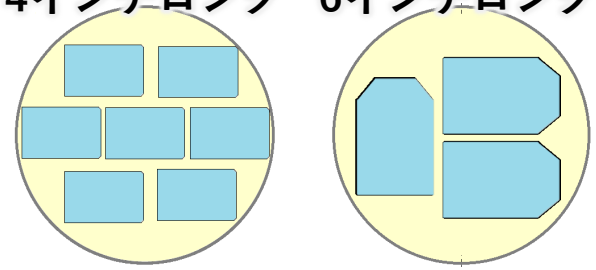
Y長ロング化 構想



人工水晶育成の最適化

育成炉俯瞰イメージ

4インチロング　6インチロング



育成炉内の収容可能本数が異なる

チップ取れ数： 4インチ原石比

	原石当たり	育成炉当たり
4インチ原石(現行)	1	1
4インチロング	約3.5倍	約1.5倍
6インチロング	約4.0倍	約1.1倍

- 4インチロング化　成功
- 6インチロング化　挑戦中（27年末完成予定）
- 育成日数短縮にも挑戦中　150日→120日

最も効率の良いサイズ、加工効率を見極め
量産展開によりコスト競争力を高める

業界最安チップの実現　フォトリソ製品のコスト競争力強化

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

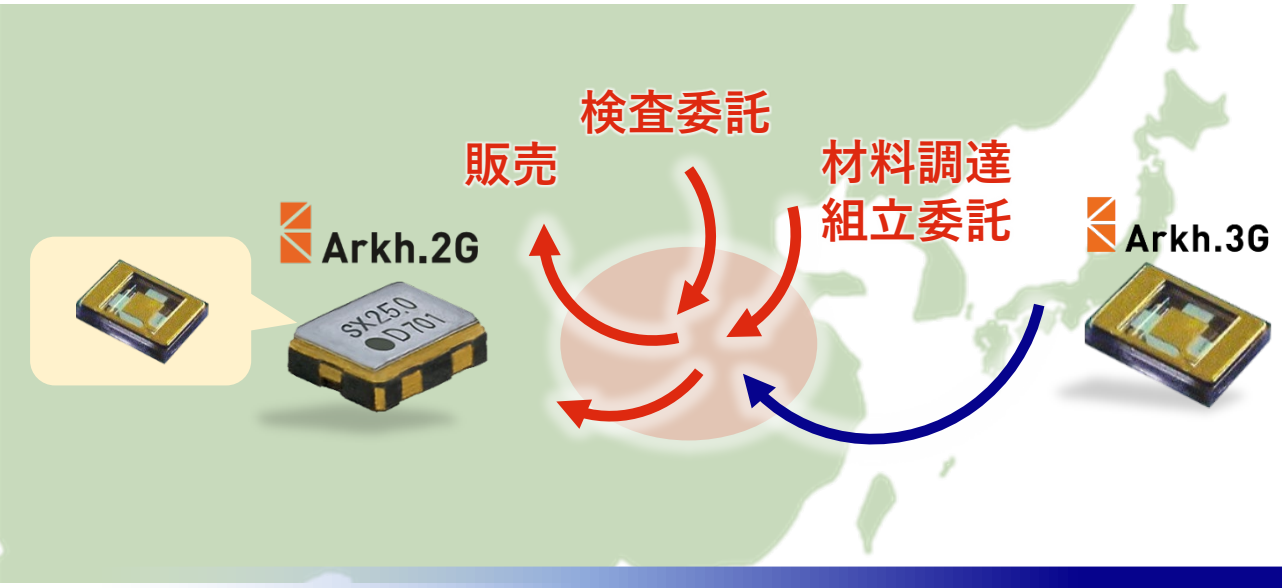
「OCEAN+2戦略」 進捗 Alliance：共創

中国市場	中国メーカー採用優先 半導体、電子部品

現状対応	従来品　中国メーカーと複数進行中

将来構想

販売機会損失を回避する



Arkh.2G　アライアンス

＜スキーム案＞

	KDS	中国メーカー	中国市場
1st. Step	組立加工	検査委託	販売
2nd. Step	Arkh.3G販売	材料調達・組立	販売

第2中期での実現を構想

Arkh生産に関連するアライアンスを推進

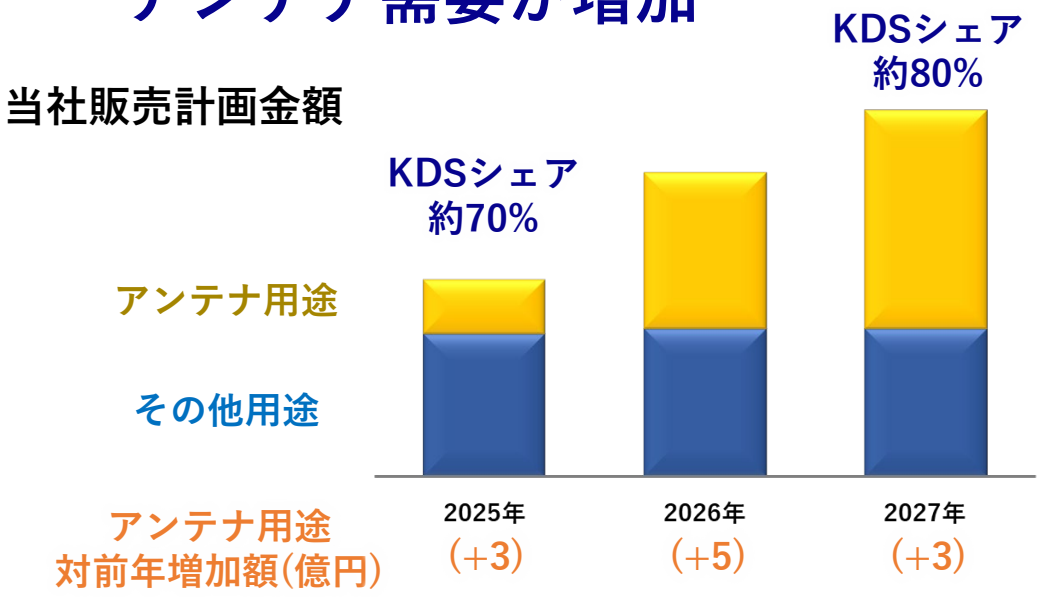
Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」 進捗

Niche：残存者利益

水晶フィルタ ニッチ市場でのトップ維持

- 衛星通信市場の成長に伴い、アンテナ需要が増加

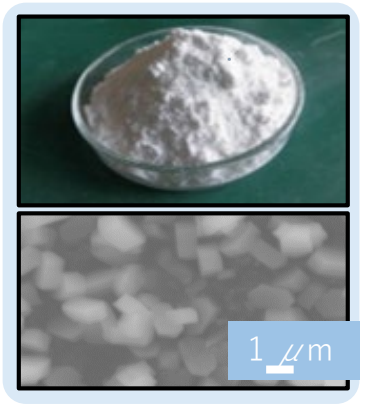


売上増・利益増に期待

+1：新たな結晶

ゼオライト合成 石油精製用触媒

- 人工水晶と同じ育成炉で合成可能



KDSコアテクノロジー
水熱合成技術の活用

高純度結晶　開発中

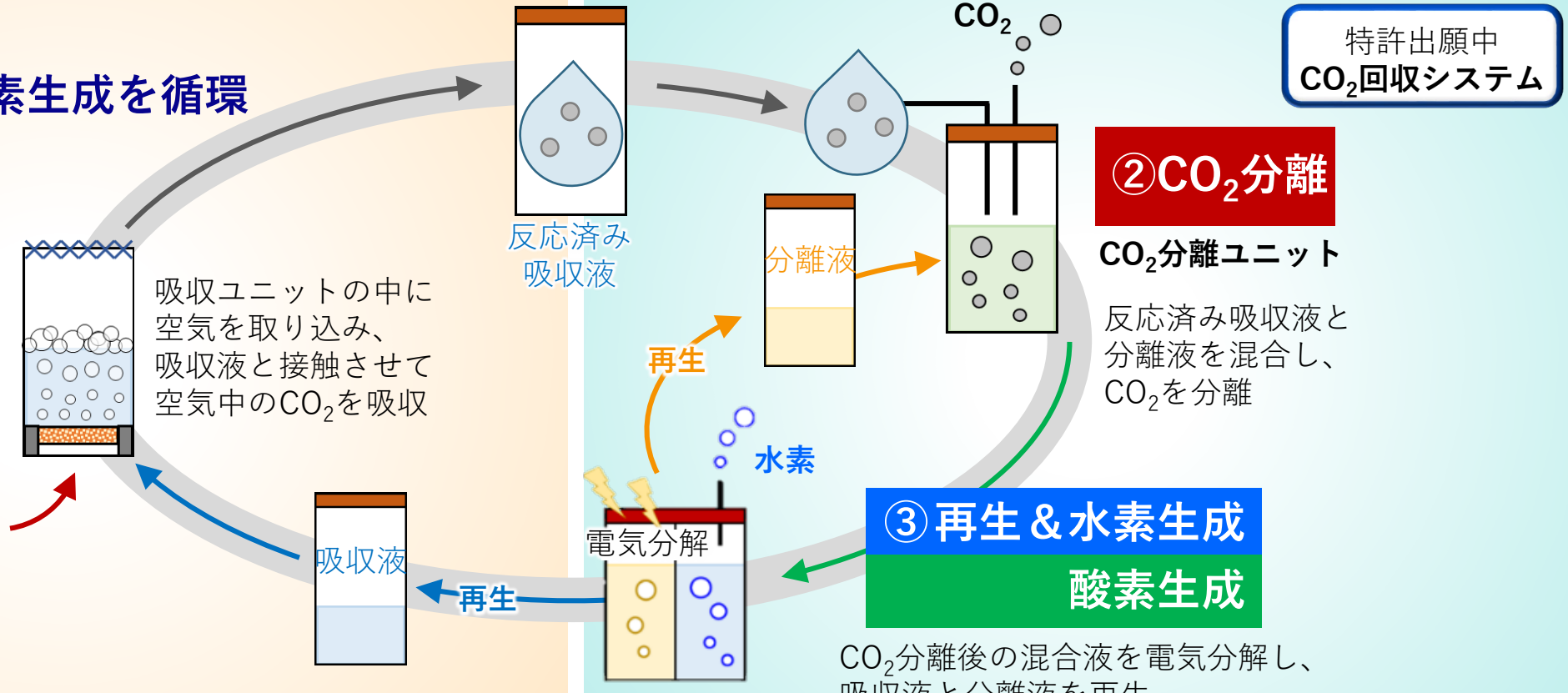
販売ステージへ

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

「OCEAN+2戦略」 進捗 +2: 新たな事業

KDS-DAC　DAC(Direct Air Capture)：直接空気回収技術 大気中から直接CO_2を分離・回収する技術

循環イメージ
CO_2回収と水素・酸素生成を循環



特許出願中(3件)
バブリングシステム

特許出願中
CO_2回収システム

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

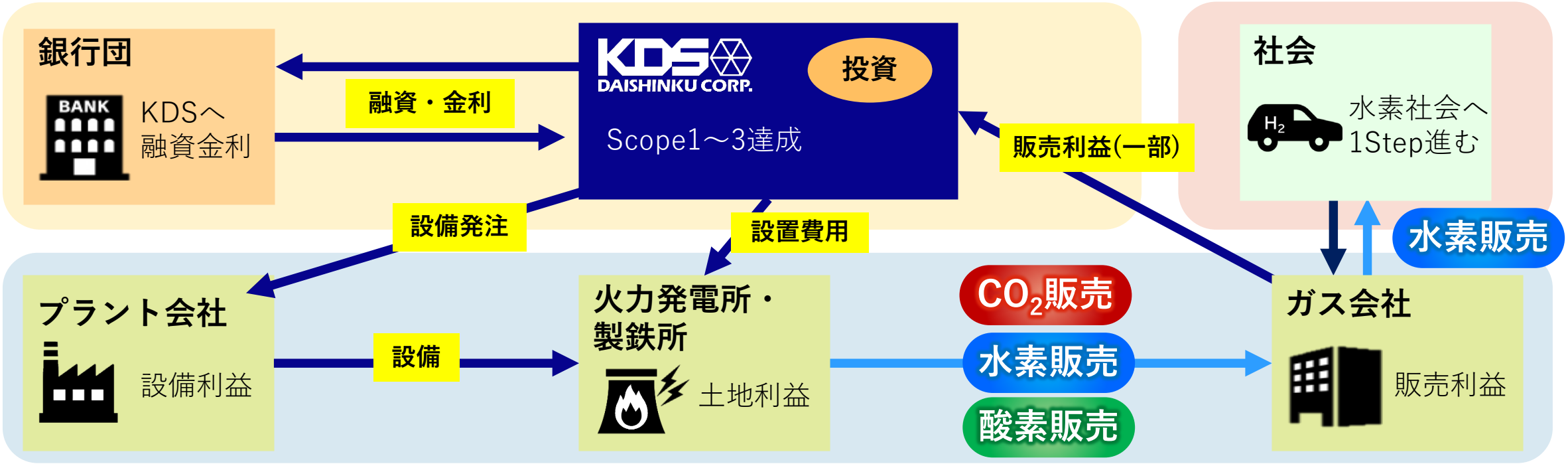
「OCEAN+2戦略」 進捗 +2: 新たな事業

KDS-Scope1～3： CO_2排出量 22万t/年削減を想定

KDS-DAC ▶ 1万t/年の水素生成・販売

KDS投資額 約 140億円

投資回収期間 約 3年（当社試算）



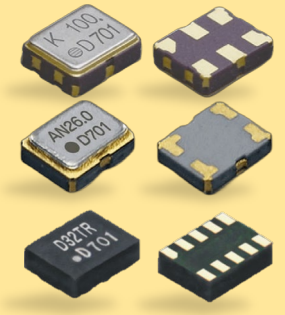
各ステークホルダーのビジネスとして成立可能

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

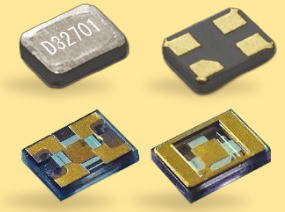
KDS事業領域

拡大期待市場

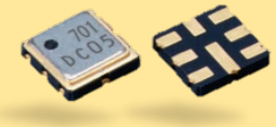
水晶発振器
- SPXO
- TCXO
- 差動出力水晶発振器
  上記にArkh.2G含む
- RTC(時間記録)



水晶振動子
- 高周波水晶振動子
- Arkh.3G水晶振動子
  いずれもフォトリソ品



水晶フィルタ
- 低軌道衛星通信アンテナ



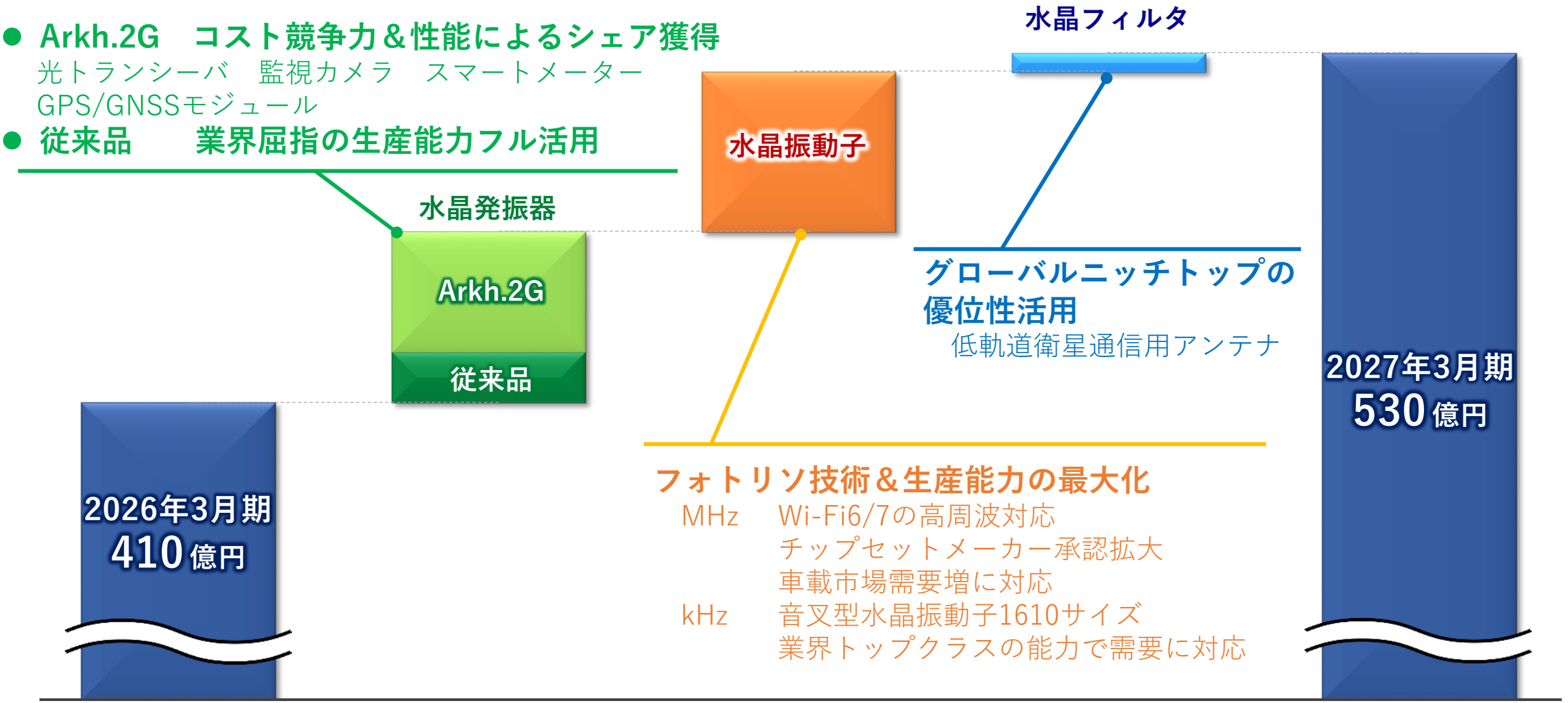
価格が優先されるBluetooth市場

【非事業領域】　レッドオーシャン

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

2027年3月期 売上増加内訳

- **Arkh.2G　コスト競争力＆性能によるシェア獲得**
  光トランシーバ　監視カメラ　スマートメーター
  GPS/GNSSモジュール
- **従来品　　業界屈指の生産能力フル活用**



Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

米国関税影響について

当社 地域別売上イメージ

通信、民生：生産地 中国→アジア圏へのシフト加速

車載：自動車生産台数 減少の可能性あり

産業：世界経済の影響を受ける可能性あり

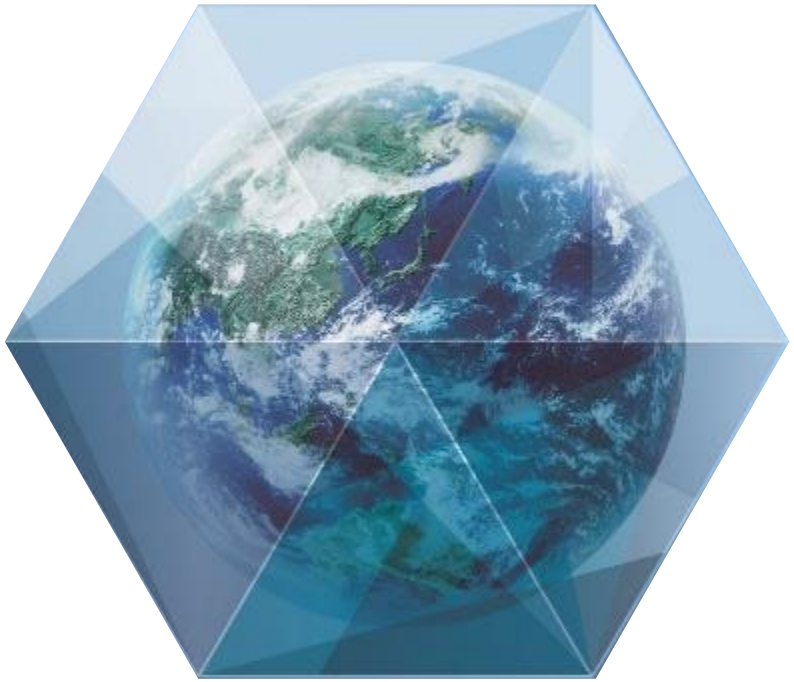
▶ 影響は軽微と予測

▶ 現段階では予測困難

Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.

今期の業績予想など将来に関する記述につきましては、現時点で得られた情報に基づき算出しており、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は業況の変化などにより、将来に関する記述と大きく異なる場合があります。

また、当社はこの資料の発行後、適用法令の要件に該当する場合を除き、将来に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



Copyright © DAISHINKU CORP. All rights reserved.